

令和8年度 木津町区自主防災大会のご報告です

連日の暑さが続く中、講演者や役員を含め114名もの方々にご参加いただき、自主防災大会を盛況のうちに開催することができました。今大会は「参加者全員で、安全に作り上げる大会をめざす。」ことを目標としました。

その中で、大会前日の会場設定に参加してくださった皆さん。また、当日の会場の参加者の椅子並べなど様々な作業に参加者の皆さんが行なって下さり、そして、大会終了後には、多くの方が自ら考えて、会場のブルーシートや展示物の収納や暑い中テントの片付けなど、多数の参加者のみなさんのおかげで、防災大会を開催し、無事終了することが出来ました。

役員一同、この場をお借りして感謝申し上げます。本当に、ありがとうございました。



さらに、急なお願いにもかかわらず多数のみなさんが、炊事担当を受けて下さり暑い中カレーを作って下さりました。直接お礼を伝えることが出来ませんでした。炊事担当のみなさま、本当にありがとうございました。

アンケートの中でも「カレーが美味しかった」との意見が多くありました。

防災大会の内容として、①講演 ②昼食の炊事、防災用品の組み立てなど ③相楽中部消防署による訓練参加を行いました。

講演では、木津川市危機管理課の石津担当課長による防災についての気象情報の変更など、木津警察署大井生活安全課長からは「まさか自分は詐欺にあわないという思い込みをなくすこと」、陸上自衛隊の奥田2等陸曹からは、「災害時、必ず助けに行くので自分自身が生き延びることを優先させてほしい」ことなどそれぞれ専門での大切なことをたくさん学びました。

次に、防災用品の組み立てを危機管理課のみなさんと地域防災リーダーの説明を受けながら、段ボールベッドや避難所用テント、簡易トイレ、野外のテントなどを参加者全員で体験しました。今回は、熱中症対応として、救護室として借りた部屋に使用せずに済みましたが段ボールベッドを設置しました。避難所では、多くのゴミが出てしまうので、燃えるゴミ、ペットボトルの分別を防災委員と分かりやすく表示しました。



そして、休憩をはさみ相楽中部消防署の協力を得て、消火器の使用法、徒手搬送訓練、AED 操作訓練、災害 VR 体験など普段できない経験をする事が出来ました。また、子どもさんのいる家族さんが消防車と写真を撮られている場面は、心温まるシーンでした。



木津川市谷口市長も多忙の中、参加して頂き、市民のみなさんと防災について話をされたり、ビンゴゲームを楽しまれました。木津川市社会福祉協議会木津支所の伊藤様にも、大会全般において、さりげない参加者へのフォローや、多くの防災に関するパネルを展示していただきました。

さらに、今回は木津小学校と木津中学校より、学生が学んでいる防災に関する資料をたくさんお借りすることが出来て、たくさんの参加者の目に留まったかと思います。

今回の大会を通じて、多くの各専門職のみなさんのおかげで防災大会が行えたこと。そして、いつもと変わらない日々が、さまざまな方のおかげで成り立っているということを再認識できました。本当に、防災大会に関わって下さった皆さま、ありがとうございました。



令和8年8月6日(木)

木津町区自主防災会会長 西 洋祐

スライド➡

